

腎臓内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究のために過去の記録が用いられることについて患者さんもしくは患者さんのご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、[お問い合わせ]までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

また、この研究については、KKR 高松病院治験審査委員会の審議にもとづき病院長の許可を得ています。

[研究課題名] エコーガイド下穿刺における機器の違いが穿刺操作および術者負担に及ぼす影響

[研究機関] KKR高松病院 （病院長：森 由弘）

[研究責任者] 血液浄化センター 臨床工学科 平井沙季

[研究の目的] ラップトップ型エコー、ハンディエコー、スマートグラス、それぞれを用いたエコーガイド下穿刺について、作業効率および術者の身体的負担を比較検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

自己血管内シャントを作成している透析患者さん

●利用するカルテ情報（2026年6月26日～2026年7月10日までの下記の情報）

- ・年齢、性別、透析歴、駆血時間、準備時間
- ・穿刺作業中の術者の頸部前屈角度および頸部回旋角度（Angle Meter（携帯アプリ）使用）
- ・使用した機器（ラップトップ型エコー、ハンディエコー、スマートグラス）
- ・各機器における穿刺が1回で入らなかった回数
- ・臨床工学技士の機器に対する評価記録（見やすさ・操作性・ストレス度・頸部疲労度）

[研究期間]

病院長の許可日～2027年12月（利用を開始する日：2026年8月24日予定）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。本研究に関する試料・情報は研究責任者により適切に管理・保管されます。

[問い合わせ先]

高松市天神前4番18号

KKR高松病院血液浄化センター 担当 平井沙季

電話 087-861-3261代 FAX 087-834-0199